

2011年3月6日 メキシコ
シトロエン・レーシング発

世界ラリー選手権(WRC)メキシコ

～シトロエン DS3WRC 初勝利をローブが飾る～

2006年以來メキシコで負けなしのセバスチャン・ローブ／ダニエル・エレナ組が今回、メキシコでの5連勝目を飾りました。そしてこれは今回のラリー全般を通じてグラベルでの強さを見せつけたシトロエン DS3WRC にとっての初勝利でもあります。一方、セバスチャン・オジエ／ジュリアン・イングラシア組はデイ3最初のステージでコースアウトし、リタイアを余儀なくされました。ローブ／エレナ組は今回の勝利でドライバーズタイトル争いで2位に浮上しています。



総走行距離が長いデイ1、デイ2と打って変わって、ラリー・メキシコ最終日となるデイ3はわずか62Kmという短い距離での戦いでした。サービスなしでの3ステージからなるループは、グアナファト(29Km)、コマンニラ(24Km)、そして上位3台にボーナス・ポイントが与えられるグアナファトのパワー・ステージ(8Km)という構成でした。

デイ2を終えてのトップ、オジエと2位ローブとの差はわずか10.5秒。最終日、2人の目標はもちろんシトロエン DS3WRC のワンツー・フィニッシュです。ところが、オープニングステージで予期せぬ悲劇がオジエを襲いました。ステージ途中でコースアウトし、左フロントのサスペンションを損傷して、リタイアせざるを得なくなったのです。

「1番スタートだったので、また路面の掃除役になってしまい、1位をキープするには強気で攻めていくしかなかった」とオジエは振り返ります。「コーナーでアンダーステアになり、少しふくらんでしまった。それで道端の石を避けきれなくて左フロントのサスペンションを壊してしまった。ギャンブルして負けた訳だけど、何よりチームのみんなに本当に申し訳ない。今回、スタートからすばらしい展開だったのに、マニファクチャラーズ・ポイントを獲得するという任務が果たすことができなかった」

ステージ途中で止まってしまったチームメートを目の当たりにして、ローブの闘争心に改めて火が付きました。「オジエとイングラシアが道端にいるのを見たときはショックだった。最後の最後まで競り合いたかったし、あんな形で終わったのは残念だよ。このステージで僕らは 2 位のミッコ・ヒルボネンに 1 分 30 秒以上の差をつけてトップに返り咲いた。あとは最後まで大事に走るだけだった」



コマンニラで数秒ロスしたあと、ローブはボーナス・ポイントの獲得に向けてパワー・ステージのスタートラインにつきました。結局、ペター・ソルベルグと同タイムの 2 位。ボーナスの 2 ポイントを獲得して激戦ラリー・メキシコを終えたのです。

「とにかく手強いラリーだった。オジエとのスリリングな競り合いあり、マシンの初期トラブルありで、やっと最後の最後に勝利を手にできた。チャンピオンシップ・ポイントで 2 位につけているから、今回の優勝でポイントが加わったのは大きいね。メキシコでやっとシーズンが始まった、という感じだ」

「今回もまた、シトロエンにとって特別な結果となりました」とオリビエ・ケネルは笑顔で語ります。「本当にすばらしいラリーでした。途中、オジエがリタイヤとなり、残念ですが、仕方ないですね。グラベルでの最初のステージとなった今回、多少の不調はあったものの、DS3WRC のスピードと安定性をしっかりお見せすることができました。これからのシーズンが楽しみです。なにせ、最強のマシンと最強のクルーがタッグを組んでいるのですから。2 つの世界タイトル獲得に向けて、万全の戦略を立てていきますよ」

ペター・ソルベルグ／クリス・パターソン組は慎重に DS3WRC を走らせてデイ 3 を 4 位でフィニッシュし、パワー・ステージでもボーナス・ポイントを獲得しました。

.....
プジョー・シトロエン・ジャポンでは、2011 年もシーズンを通して WRC のリザルトをタイムリーに配信、新しく投入された DS3WRC の活躍をお伝えしていくことによってシトロエン車の高いパフォーマンスを広くアピールして参ります。

